



- 本社所在地：東京都板橋区
- 事業概要：EC物販、輸出入卸売、保税倉庫運営および通関業
- 常時使用する従業員：29名
(2025年7月時点)
- 現在の売上高：19億円
(2025年7月期)
- 法人番号：9013301028147
- Web：http://yuhojp.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
施政

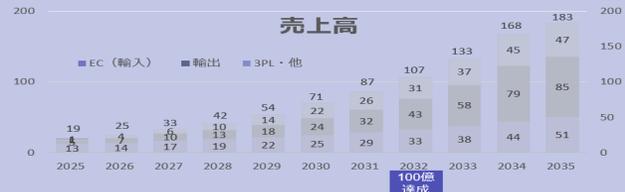
「物流DXの力で日本の中小企業を世界へと繋ぎ、地域経済の活性化を実現する」

私たちは、日本のEC市場の可能性を信じて歩んできました。直近2年間の売上高を約2.5倍へと飛躍させた実績は、私たちの挑戦が正しい道にあることを証明しています。

しかし現在、日本の物流は物理的限界に達しています。トラック配送のスピードやコストが頭打ちとなる中で、中小EC事業者が生き残る唯一の道は、倉庫内処理と事務手続きの「圧倒的な高速化」にあります。今後、私たちは、この物流の非効率性を乗り越え、自社物販だけでなく、通関・保税・AI倉庫を垂直統合した「次世代物流プラットフォーム」を地域の中小企業へ開放します。このインフラにより、日本の中小企業が円滑に外需を取り込み、共に成長力を高める未来を創り、地域社会を力強く牽引するモデル企業となることを、ここに強く宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標
2032年に売上高100億円達成を目指す（年平均成長率 約40%）。



課題

- 1. 配送網の物理的限界への対抗**
物流網の物理的限界により配送の高速化は不可能です。この外側の遅延を、倉庫内の自動化と通関のデジタル化による「内側の速さ」で相殺する構造改革を断行します。
- 2. 労働集約型モデルという「構造的欠陥」の打破**
「人で解決できない」現状を打破するため、在庫をロボットが自律管理するなど、省人化し、物理的処理能力の天井を突き破ります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 1. AI自動倉庫と通関DXの垂直統合インフラ構築**
AIラックと当社の通関自動化システムを直結した次世代拠点を新設。配送網の停滞に対し、倉庫内の「静止時間」と通関の「空白時間」を極限まで削り、365日24時間稼働で、同業大手を圧倒する超高速・低コストな物流プラットフォームを確立します。
- 2. 自律型ロボットによる「超省人化」3PL展開**
AIロボットが自律管理する体制へ転換し、人カモデルの限界を突破。保管効率4倍・作業効率6倍の圧倒的生産性を武器に、このインフラを外部EC事業者へ開放（3PL）することで、爆発的な売上成長と100億円達成を実現します。

実施体制

- 1. 社内体制：DX推進・運用チームの立ち上げ**
- 2. 社外体制：技術・インフラパートナー**
 - Hai Robotics (技術)：** AIインテリジェントトラック (ACR) および搬送ロボット (GTP) の導入、HAIQの構築。
 - 鈴木建設 (建築)：** ロボット稼働に最適化した1,800㎡の新倉庫建設を担うインフラパートナー。
 - 自動化設備各社：** 仕分け機械や自動袋封かん・ラベル貼付機などの周辺設備の導入・保守。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです